

この情報紙は、春日井市内で活躍している市民活動団体に
インタビューを行ったり、市民活動イベントの紹介をしています！
今月の団体は、「春日丘高等学校インターアクトクラブ」です！

No.25



今年もやります！

**青少年
ボランティアスクール！**



**オトナの
ボランティアスクール！**

**申込はささえ愛
センターまで！**

春日丘高等学校インターアクトクラブ

今回は、春日井市内で様々なボランティア活動を行っている春日丘高等学校インターアクトクラブ顧問の松本先生と生徒代表の森岡さんのお二人にお話を伺いました。

インターアクトクラブとは？

春日丘高等学校インターアクトクラブは、学校のクラブ活動として2001年に発足しました。数年前までは部員30名。コロニーと春緑苑の2か所で、月に1～2回ボランティア活動を行ってきました。

2009年に松本先生が顧問に就任したのを機にクラブの理念と行動指針を作り、活動範囲と部員数を大幅に増やしてきました。現在では、部員は約80名。週2回（土・日）、夏休みなどの長期休暇はほぼ毎日活動を行ない、年間300ヶ所以上でボランティア活動をするまでになっています。

どんなボランティア活動をしていますか？

老人ホームなどでは、お年寄りの話し相手や食事の補助などのほか、歌やダンスなど“魅せる”ボランティア活動をしています。障がいのある方の施設では、車いすを押しての散歩やレクリエーションなど、学童保育では手遊びやからだ遊び、工作などを行っています。

責任者の生徒が活動を依頼された施設と事前に詳細の打合せを行い、出来る限り相手先のオーダーに応えるように、いろいろ考え準備をして臨むようにしています。



また、募金活動をJR高蔵寺駅などで行っています。集めたお金は、自分たちが普段から伺って、お世話になっている施設など自分たちの目に見えるところに贈りたいと思い、事情があって両親と暮らせない子どもの施設に贈っています。

そのほか、地域のお祭りに参加して、模擬店運営やゴミ拾いを行ったり、被災した東北地方への支援としてその地域の物品をイベント会場などで委託販売するなど、私たちのボランティア活動は、広い範囲に及んでいます。(森岡さん)

活動を通して思うこと、伝えたいことは？

入部して初めて行った心身障がい者施設では、何度訪れても名前を覚えてもらえなかったのですが、1年間ずっと通い続けたら、名前や好きな食べ物などを覚えていてくれるようになって、本当に感動しました。こういう感動はボランティア活動を長く続けなければ体験することはできません。感動と「ありがとう」の言葉が、私たちの励みと「もっとがんばろう」というモチベーションにつながっています。

もう一つ大切なことは、人に対して偏見をもたないことです。障がいがあっても話せば伝わるし、言葉が理解できなくても笑ってくれる。活動をする前は障がいのある人に距離があったけれど、今はそうした壁がなくなりました。

この活動を通じて、いろいろな人と知り会ったり、多くのことを経験したりと、これからの人生にとってすごく貴重な体験ができていると思っているので、もっと多くの生徒にこのクラブに参加してほしいと思います。(森岡さん)



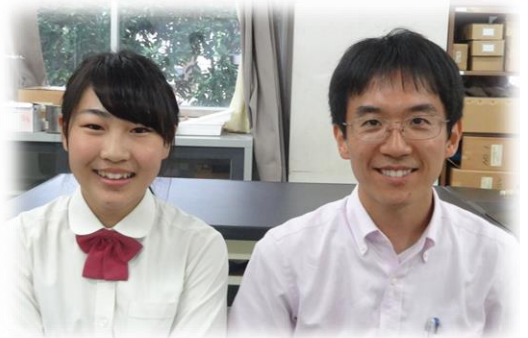
ここまで幅広く継続的にやり続けている生徒たちはすごいと思います。私は『人』(生徒)こそ宝』とされていて、この「人の熱意とやる気」でこの部活は動いていると思っています。この活動が「誰かのためになっている」という気持ちと、その誰かから「ありがとう」と言われるサービスを提供したいという生徒たちの強い思いが、この活動の原動力なのです。

生徒たちは皆、プライドを持って活動しています。この活動は全て生徒たちの成長のためにあります。これから生きていくための糧になれば、そして生徒たちが成長を続けていけるなら、まだまだ頑張りたいと思っています。(松本先生)

課題とこれからの活動について

今少し困っていることは、活動先への交通費が自費なので、活動先が増えた分だけ高校生には金銭的に厳しいということです。でも、インターアクトクラブがどんな活動をしているかを知ってもらい、高校生としての私たちに、ボランティアに来てほしいと思ってもらえる施設があれば、活動先を広げていきたいと考えています。ご連絡をお待ちしています。

また、これから高校入試をひかえた中学生には、このクラブに共感して春日丘高校に入学してきてほしいと思います。(森岡さん)



活動やインターアクトクラブへの思いを熱く語ってくださった森岡さん(左)と松本先生(右)

取材後記 (K.K)

子育て支援施設でのボランティア活動の見学、各グループ合同反省会、松本先生そして森岡さんのインタビューを通して、活動のスキルの高さ、反省会での発言の厳しさ、ボランティアへの真摯な取り組みとスキル向上へのたゆまぬ努力と、どれをとっても高校生の活動の域を超えたレベルの高さに目を見張った。

これからの日本の社会には、高齢者、子育てなどの福祉に携わる人の需要が増え続ける。そして、この方面ではボランティアの活動も欠かせない。そういったことを考えると、人材の確保とスキルアップは大きな課題である。そういう中でインターアクトクラブの取り組みは、生徒自身の教育も含めて時代になかった活動で、これからも大いに期待したい。



市民活動団体イベントカレンダー



日付	時間	イベント名	場所・定員・料金・その他	実施団体・問い合わせ先
毎月第1、第3土曜日	18:30~	飛び入り Night 誰でも参加できるライブステージ	高蔵寺駅北口 パルカフェポーノ ライブ演奏料おひとり700円 & 飲食オーダー願います 1グループ2~3曲程度	NPO 法人まちのエキスパネット 0568-52-7315
7月3日(金)	10:00~12:00	第8回プチサミット ~子育て支援団体との連携~	ささえ愛センター 参加無料	NPO 法人あいちかすがいっこ 0568-84-2633
7月5日(日)	18:00~20:00	フルーツと蛍のタベ (フルーツ演奏と蛍の観賞会)	げんき牧場 先着30名 参加費 2,000円	NPO 法人ホリスティック乗馬協会 080-9488-7733 (安藤)
7月9日(木) ~7月23日(木)		見よう!聞こう!市民活動	東部市民センター	ささえ愛センター市民交流会議
7月12日(日) 8月9日(日)	14:00~	不登校交流会	場所等は事前にお問合わせ下さい 参加無料	春日井市不登校友達の輪 070-6414-5736
7月18日(土) ~8月18日(火)		青少年ボランティアスクール	ささえ愛センター、総合福祉センター、ボランティア活動体験先 先着30名 参加費無料	ささえ愛センター 0568-56-1943
7月19日(日) 7月20日(月・祝)		高蔵寺うたう日 (高蔵寺さてみん祭 in サンマルシェ)	高蔵寺サンマルシェさてみん祭会場 参加無料	NPO 法人まちのエキスパネット 0568-52-7315
7月24日(金)	13:30~16:30	子ども安全アカデミー 防犯について学びます。 「自分の身は、自分で守る」夏休みに親子で学ぼう 楽しく学んで安全・安心	春日井市役所 12階大会議室 小学3年生~6年生及び保護者 定員50名 申込み7月10日必着 参加無料	春日井安全・安心まちづくり ポニター連絡会 〒486-8686 春日井市鳥居松町5-44 春日井市安全なまちづくり協議会(春日井市市民安全課内) 宛 0568-85-6064
7月25日(土) 8月29日(土) 9月26日(土)	7:00~9:00	「グリーンベルト散策」と ゴミ拾い	落合公園 ラジオ体操後朝宮公園 まで往復(雨天中止)	ウォーキング春日井同好会
7月26日(日) 8月23日(日)	14:00~	不登校勉強会	レディヤン春日井 第1集会室 持ち物:筆記用具、飲み物 資料代500円	春日井市不登校友達の輪 070-6414-5736
7月30日(木) 7月31日(金) 8月6日(木) 8月7日(金)	13:30~15:30	春日井「心の相談」センター 『カウンセリング入門講座』(全4回)	総合福祉センター ささえ愛センター 資料代500円 女性のみ	春日井「心の相談」センター 0568-88-7269 (村田)
8月2日(日)	10:00~11:30	わくわく!ふれあいワールド 中国の世界遺産を楽しもう	ささえ愛センター交流ルーム 参加無料	春日井市国際交流ネットワーク 0568-56-1944
8月22日(土)		JAZZ NIGHT 春日井ジャズフレンズ によるライブ	詳細はお問合わせください	NPO 法人まちのエキスパネット 0568-52-7315
9月2日(水) ~10月2日(金)		オトナのボランティアスクール	ささえ愛センター、総合福祉センター、ボランティア活動体験先 先着30名 参加費無料	ささえ愛センター 0568-56-1943
9月6日(日)	10:00~12:00	国際交流デー (世界のあそび)	東部ほっとステーション (アピタ南館1F)	クロスカル 0568-82-4359 (福田)

発行: 春日井市市民活動支援センター(ささえ愛センター)

〒486-0837 春日井市春見町3番地 TEL:0568-56-1943 FAX:0568-56-4319

URL: <http://kasugai.genki365.net/>